

令和５年度第２回沼田市教育委員会会議録

１ 期日

令和５年５月２３日（火）

２ 場所

テラス沼田庁議室

３ 出席者

竹之内篤教育長、高橋昭紀委員、中村春夫委員、永井和恵委員、武藤英子委員

４ 沼田市教育委員会会議規則第１９条第３号による出席者

北澤昇教育部長、角田紀男教育総務課長、林武史学校教育課長、小野利明生涯学習課長、原澤秀樹文化財保護課長、生方純也スポーツ振興課長、栞原満博教育総務課長補佐

５ 開会宣言（午前９時００分）

６ 会議録の承認

７ 日程第１ 会期の決定

会期は、５月２３日の一日と決定

８ 日程第２ 会議録署名委員の指名

教育長が中村春夫委員を指名

９ 日程第３ 教育長報告

（教育長）

教育委員の皆様には、４月末から５月初めにかけて学校経営ヒアリングで大変お世話になり感謝申し上げます。また、指導主事訪問Ａが白沢小学校を皮切りに始まった。私も予定の許す限りできるだけ訪問している。各学校では、引き続き感染防止対策を講じる中で、一人一台端末の活用、学習の見通しを持たせたり、目的に応じて学習形態を変えたり、振り返りの時間を確保しながら、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、一人一人の先生が努力していることが伝わった。教育委員の皆様にも引き続き、都合を付けて学校や子供たちの様子を参観していただくようお願いしたい。

５月の定例校長会の指示伝達について報告したい。

○教育課程の管理について

- ・全国学力学習状況調査の内容をすべての先生方が確認し、日常の指導を振り返る機会とするとともに、今後の授業改善にいかしていくこと
 - ・教頭も含めて管理職の日常的な授業参観を実施し、年度当初にそれぞれの先生方の特長や課題をつかみ、授業力向上を図ること
- 日常の人事管理について
- ・人事評価の面談を通して、職員のモチベーションを高めるとともに、心身の健康管理に配慮すること
 - ・服務規律の確保に向けて、具体的な事例等を活用しながら研修を工夫し、報告・連絡・相談の徹底、組織によるチェック体制の確立を図ること
- 諸課題への対応について
- ・小中学校の適正配置に係るアンケート実施について
 - ・休日の部活動の地域移行を含めた部活動アンケート結果の今後の活用について

(高橋委員)

全国市町村教育委員会連合会の総会に出席したところ、文部科学省からコロナ以降いじめが徐々に増えつつあるので、気を付けて取り組んでもらいたいと話があった。

(中村委員)

先週の菌原湖堰堤まつりでは、利根小学校の4年生が国土交通省の担当者から説明を受け、迫力がある放流の様子も見学して勉強になったと思う。また、学校訪問では利南東小学校と利根小学校で4年生の授業を参観した。机が大きくなると教室が狭く感じる学級もあると思った。

(永井委員)

池田小学校の2年生3年生が初めて複式学級となり不安な部分もあるが、学校訪問等で見守っていきたいと思っている。

(教育長)

教育委員会としても注意しながら対応していきたい。

(武藤委員)

- ・川田小学校で6年生の家庭科を見学したところ楽しそうに学習していた。5年生の英語の授業では、先生が話す英語もALTの先生が話す英語も、児童がちゃんと理解しており、これまでの蓄積で英語を身に付けていると感じた。

(教育部長)

なし

- ・次回開催日

次回開催を、令和5年6月23日（金）午前9時30分から予定

(教育総務課長)

- ・令和5年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検評価スケジュールについて

- ・ 6 月の主な行事予定について

（学校教育課長）

- ・ 令和 4 年度沼田市児童生徒の不登校等の状況について
- ・ 沼田市立小中学校における勤務時間外の電話対応について
- ・ 休日部活動の地域移行に係る意識調査の結果について
- ・ 令和 5 年度運動部活動に係る外部指導者等について

（高橋委員）

不登校に関しては、児童生徒だけに指導しても難しい部分もあるので、利根沼田地域で保護者に対する巡回指導や理解が進むような取組が必要と思う。

（学校教育課長）

家庭の事情で不登校に陥るケースは多くあり、例えば教育支援センター「きずな」に入級していると、保護者が県の技術支援アドバイザーという臨床心理士の資格者から直接アドバイスを受けられる仕組みがある。また、市の子ども課が子供をほめて育てる「ほめトレ」について取り組んでおり、そちらと連携することも大切と感じたので、今後強化していきたい。

（高橋委員）

部活動の地域移行についてだが、今後地域の指導者に移行したとき、どの部活動でも強くなって良い成績を残してもらいたいと、土日も両方やるようになることを心配している。家族との時間や家庭で過ごす時間も大切だと思うので、意識調査の結果にもあるとおり、学校現場をよく知る方、勝たせることだけでなく生徒の心情を理解してくれる方に指導をお願いすることが大事だった。

（中村委員）

子供たちにもいろいろな意見がある思った。費用面で保護者の負担が増えることを不安に感じている子供たちが少なからずいることが気になった。

（永井委員）

地域移行がうまくいくかどうかはケースバイケースだと思う。

（武藤委員）

地域移行を一律に上から進めるのは難しいと思う。指導する立場からすれば、勝つ喜びを知ると強くなると聞く。勝利が目的ではないが、子供にはプラスになるようなので、そのバランスが難しいと思う。先生が多忙で外部の指導者をお願いするときは、先生と指導者で話し合い、子供の成長を優先に考えてもらいたい。

（教育長）

今後検討を進める中で、やはり子供を主軸に据えて考えていくことが大切だと改めて感じた。引き続きご指導いただきたい。

（生涯学習課長）

- ・ 第 25 回柳波賞の作品募集について
- ・ 第 20 回おのちゅうこう「ふるさと文学賞」の作品募集について
- ・ 第 33 回全国ふきわれ俳句大会の作品募集について

(文化財保護課長)

- ・生方記念文庫第32回企画展について
- ・沼田城遺跡の調査について
- ・横塚工場適地整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査（C1地区）業務委託について
- ・奈良古墳公園の環境整備について

(スポーツ振興課長)

- ・令和5年度沼田市民ダブルステニス大会について
- ・第22回沼田市民ターゲットバードゴルフ大会について

10 日程第4 議案第4号 沼田市社会教育委員の委嘱について

議事の概要

社会教育法第15条に基づく沼田市社会教育委員の委嘱について議決を求めるもの

生涯学習課長が議案書添付資料により説明

異議なく原案のとおり決定

11 日程第5 議案第5号 沼田市青少年育成相談センター運営協議会委員の委嘱について

議事の概要

沼田市青少年育成相談センターの円滑な運営を図るために設置されている運営協議会の委員の委嘱について議決を求めるもの

生涯学習課長が議案書添付資料により説明

異議なく原案のとおり決定

12 閉会宣言（午前9時45分）